

令和4年度香川県広報コンクール審査結果

1 審査結果

部 門		応募数	審 査 結 果	全国 推薦
広 報 紙	市部	6 市	最優秀賞 善通寺市 (12月号)	○
			優 秀 賞 丸亀市 (12月号)	○
	町部	5 町	最優秀賞 該当なし	
			優 秀 賞 小豆島町 (10月号)	
広報写真	一枚	7 市 6 町 計 13 点	最優秀賞 高松市 (6月号表紙)	○
			優 秀 賞 観音寺市 (8月号表紙)	
	組み	5 市 2 町 計 7 点	最優秀賞 善通寺市 (8月号表紙)	○
			優 秀 賞 観音寺市 (8月号2～3ページ)	
映 像		3 市 計 3 点	最優秀賞 高松市 (「高松、歴史礼讃『幻の国宝 77年ぶりに復活 桜御門』)	○

※令和5年全国広報コンクールへは、各部門の最優秀賞4点と広報紙部門(市部)の優秀賞1点を推薦します。

2 審査講評

(1) 広報紙部門

「市部」で最優秀賞となった「善通寺市」の作品(12月号)の特集では「へえ」と思う要素があり、担当者の驚きや思いがにじんでいる。写真と文章量のバランスも良く、メリハリがきいていて読みやすい。ごちゃごちゃしがちな情報ページのレイアウトや構成もよく整理されていて、工夫を感じた。

(2) 広報写真部門

ア 一枚写真の部

最優秀賞となった「高松市」の作品(6月号、表紙)は、暗い室内から明るい戸外の景色をきれいに撮るのは意外と難しいが、ここに立ってみたいと思わせるような雰囲気良く出ている。

イ 組み写真の部

最優秀賞となった「善通寺市」の作品(8月号、表紙)は、競技の特徴、選手の表情をちゃんと押さえている。狙い通り「目力」がすばらしい。

(3) 映像部門

最優秀賞となった「高松市」の作品「高松、歴史礼讃『幻の国宝77年ぶりに復活 桜御門』」は、番組として十分な構成や工夫があり広報番組というのを忘れて楽しめる内容に仕上がっている。その中で意義や歴史、細かな建築のこだわりなどをバランスよく見せており全体としてクオリティが高いと感じる。

3 審査会 書面での開催

4 主催 香川県

5 趣旨

市町の行政広報の技術向上を目的に、公益社団法人日本広報協会が行う令和5年全国広報コンクールの県予選を兼ねて、8市6町から応募のあった広報紙、広報写真、映像計34点（令和4年1月～12月の発行等）のコンクールを行いました。

※香川県広報コンクールは昭和41年度から始まり今回で57回目

※全国広報コンクールは昭和39年から始まり次回で59回目

6 審査員

《広報紙・広報写真部門》

(敬称略)

株式会社朝日新聞社高松総局長

山崎 崇

株式会社四国新聞社編集局地方部部長

古田 忠弘

株式会社毎日新聞社高松支局長

佐々木 雅彦

株式会社読売新聞大阪本社高松総局高松総局長

上田 昌義

香川県情報発信参与

香西 彰美

《映像部門》

日本放送協会高松放送局コンテンツセンター

制作 チーフ・リード

佐々木 純

株式会社瀬戸内海放送報道クリエイティブユニット統括マネージャー

前田 政裕

西日本放送株式会社報道制作局報道制作局長

小野 修一